

現代住宅の平面構成に関する研究

第5報 嗜好プランとその選定理由

○正会員 末広 香織 同 青木 正夫 同 竹下 輝和 同 友清 貴和 同 磯貝 道義
同 岡 俊江 同 宮崎 信行 同 河野 洋子 同 藤田 由美 同 本山 浩司

[1] はじめに

本報は、10種類のモデルプランに対する調査対象者の好みをも、全国の規模で概観した後、そのプランを選んだ理由について考察することにより、住み手の接客空間に対する要求の存在を明らかにすることを目的としている。

[2] 嗜好するモデルプラン

アンケートで、図5-1に示す10タイプのモデルプランの中で、一番好きをプランをたずねると、図5-

一番多く選ばれたのは、A(30.6%)で次いで多いE(16.3%)の2倍近い割合を占めている。三位G(12.2%)、四位C(11.3%)までが10%以上を占め、以下D、Fと続く。一位から六位までが座敷のあるプランである。座敷のある8プランは、全体で92%を占め、座敷のないプランでは、応接間のあるIが最低で2.1%、広い洋室のあるJの方が多く選ばれている(5.1%)。

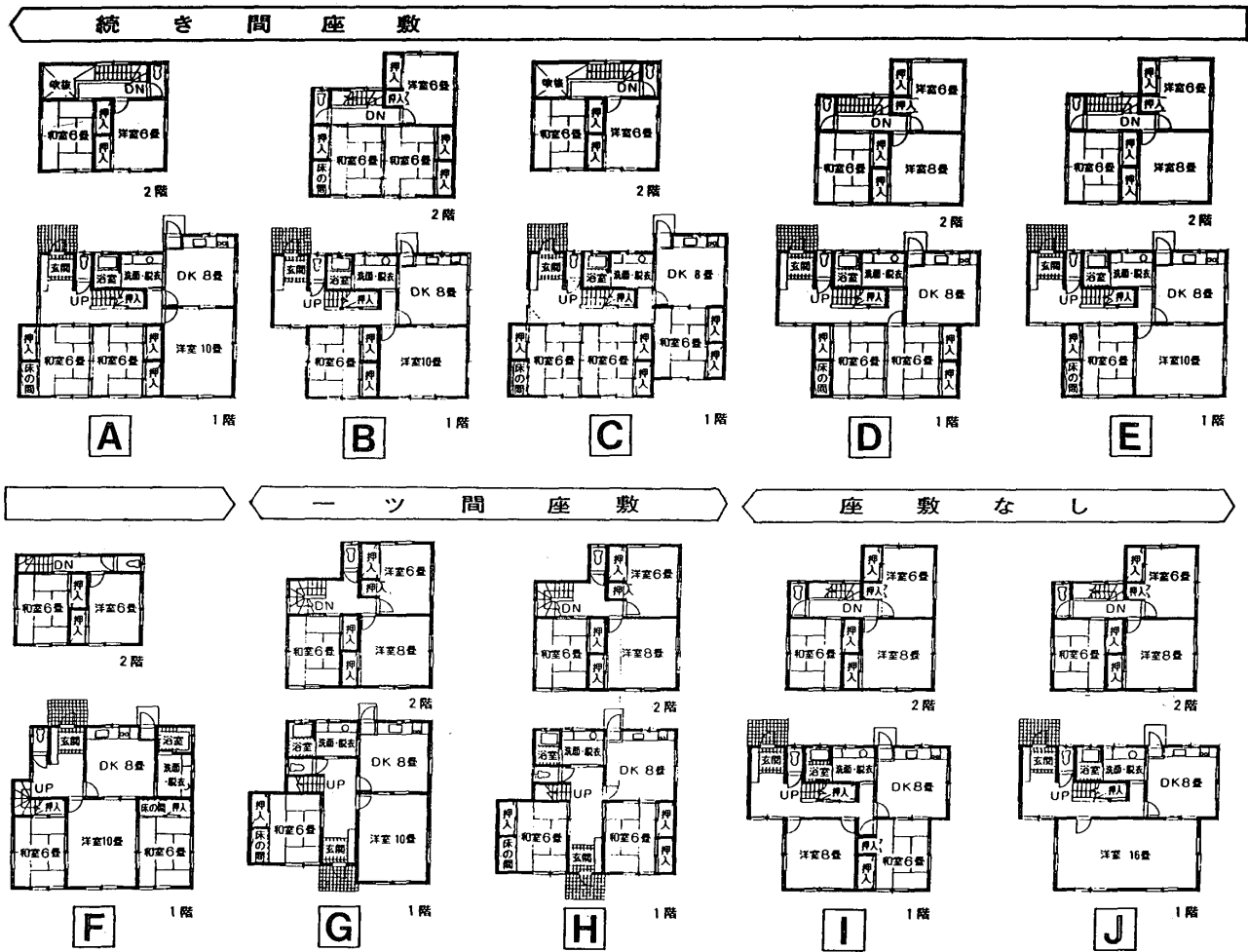


図5-1 嗜好調査モデルプラン

アンケート票には右記のように説明を加えた。
なお、配布したモデルプランの配列は上図とは異なる。

この簡取り図では、

1. 総室数はどれも等しくしてあります。
 2. 住戸面積は、ほぼ等しくしてあります。
 3. 設備まわり(浴室、便所、台所、収納)も、ほぼ等しくなるよう設計しています。
- この3点の細かな差異は、気になさらないように、お願いします。

上位3プラン中、**A**と**E**は続き間座敷であっても、だんらん室との構成が分離・重合の違いがあり、又**G**は一つ間座敷で全く構成原理の異なる3プランが上位を占めている。

続き間座敷は、**A B C D E F** あわせて77%、一つ間座敷は、**G H**、の2つで15.7%であり、一つ間に比べると続き間の方が多く好まれている。

特に続き間座敷の中でも、**A C**のように和室2室の続き間座敷があって、これとは分離してだんらん室が設けられるプランへの嗜好が強くと、2つ合わせて、43.8%に反んでいる。

なお、地域的特徴を考慮して加えた**B**2階座敷は、嗜好が下位であり、供給の実態でもかった近畿アロックスにおいても少なかった。一方、北海道に多いいわゆる居間中心型の**F**は、供給よりも多く嗜好があり、北海道以外のアロックスにおいても少数ずつながら選ばれる。

[3] 嗜好プランの選定理由

プランを選んだ理由を、嗜好する割合の高いプランの順にみていくと、**A**は、「続き間座敷だから」(以下「続き間」)

(91.2%)と「1階に広い洋室があるから」(以下「1階に洋室」)(60.7%)があげられている。**E**は、「続き間」が最も多いが66.9%で、理由の2番目の「1階に洋室」(64.5%)と大差ない。

Aと**E**は、同じように「続き間」が一番多いのに、25%もの差がある。次に、嗜好プランで3位の**G**は、「1階に広い洋室」(64.8%)の方が、「一つ間だから」(以下「一つ間」)(62.9%)をわずかながらもこえて、一番多い理由となっている。即ち、嗜好で上位の3プランは、平面構成原理の異なることを前述したが、選ばれる理由にも相違がみられる。つまり、この3プランは、いづれもだんらん室が洋室であり、このことが「1階に洋室」として60%程度あげられている共通点がある一方で、「続き間」あるいは「一つ間」の座敷に関する選定理由が大きく異なっている。つまり、同じ続き間座敷であっても、和室2室型の**A**は、高く、和洋2室型の**E**は低く一つ間座敷の**G**は、更にやや低い。このことは、他のプランの選定理由にも見られる傾向で、続き間座敷では、和室2室型の**C**、**D**も90%以上の高い割合で「続き間」を理由にあげているが、和洋2室型の**F**は、**E**よりも更に低い(45.8%)。

続き間座敷は、嗜好プランに選ばれることが多く選定理由も「続き間」があげられるが、次の間の和洋の別によって、「続き間」の割合が異なって和室2室型の方が「続き間」としてはより強い選定理由となっている。

最後に、応接間のある**I**は、嗜好プランは下位であったが、選定理由は「応接間があるから」となっている。他に、1階に洋室のある**A E F G**で、1割程度同じ理由をあげていることは、洋室のだんらん室を応接間と考える、即ち、日常的にリビングルームで接客していることを暗示している。

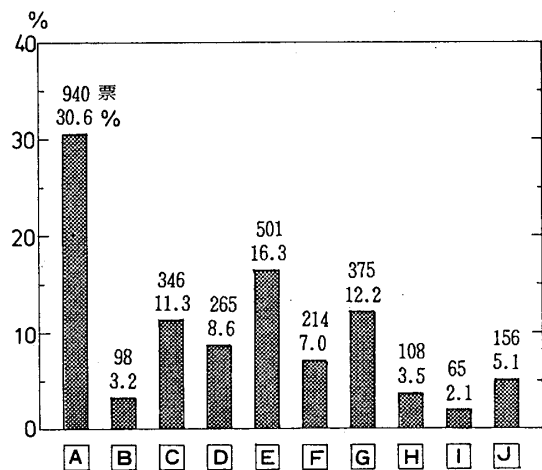


図5-2 嗜好プランの実態 (全国)

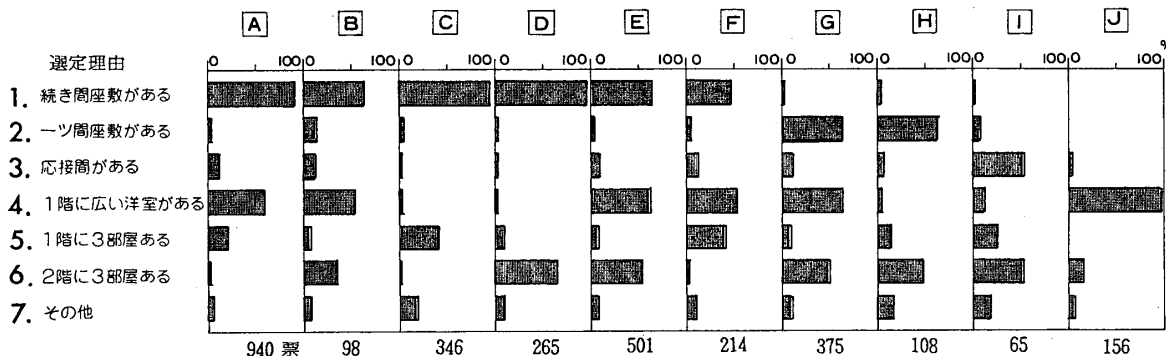


図5-3 嗜好プランの選定理由
*1 九大教授・工博 *2 同講師 *3 同助手・工博 *4 同大学院生 *5 ISA設計工房